

事業用トラックドライバー研修テキスト

～国土交通省の指導・監督指針(告示)に対応～

業界初

全トラックドライバー必読！
管理者も必携！

プロトラックドライバー向け総合マニュアル

運転者への
指導・監督指針

遵守事項、安全知識

事業用トラックドライバーに求められる12項目の内容について、指導・監督を実施しなければなりません。

初任運転者
の教育

プロドライバーの基本

若年ドライバーをはじめとする初任運転者に対しては、特別な指導・教育が必要です。

中堅・ベテラン
運転者の教育

継続的な指導・教育

中堅・ベテランドライバーの一層の安全意識高揚と資質向上のために、継続的、計画的な指導・教育が必要です。



定価 全10分冊 **8,000円** [税別 送料別]

会員[※] 全10分冊 **5,000円** [税別 送料別]

※トラック協会、日貨協連傘下会員

送料は日貨協連ホームページでご確認ください。

ご注文は、日貨協連のホームページからお申し込みください。

<http://www.nikka-net.or.jp>

企画・制作:



公益社団法人

全日本トラック協会

発行・販売:



日本貨物運送協同組合連合会

※「事業用トラックドライバー研修テキスト」(PDF版)は、3月上旬以降全日本トラック協会のホームページ(会員専用)においても公開いたします。

事業用トラックドライバー研修テキスト

プロトラックドライバーに求められる知識の集大成

指導、監督指針
(告示)を体系的
にまとめて解説

安全教育の
確立を目指す

さし絵多用の
分かりやすく
読みやすい編集

1 車高と運転

① 車高と車間距離の見え方

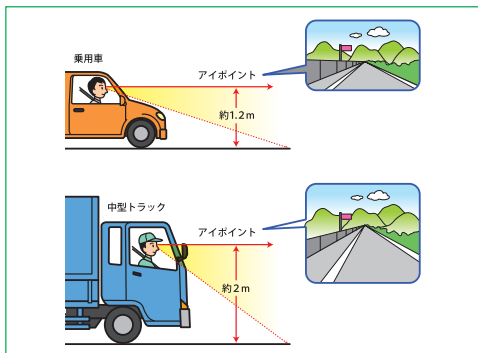
◆トラックはアイポイントが高い

トラックは運転席が高いために、ドライバーのアイポイント（視点）も高く、上から路面を見下ろすかたちになり、手前の路面がよく見えます（図23）。そのため短い車間距離であっても長いように感じやすく、知らず知らずのうちに車間距離をつめてしまう傾向があります。これが道突事故の要因の一つになっていると考えられます。

また、トラックへの苦情としてもっとも多い「おおり」行為も、こうしたトラックの特性が関わっていると考えられますから、意識して車間距離を長くするようにしましょう。



図23 トラックと乗用車のアイポイントの違い



40

全10分冊に指導、監督指針(告示)12項目を網羅

- ① トラックを運転する心構え
- ② トラック運送事業と関係法令
- ③ ドライバーの日常業務
- ④ 過労運転の防止と緊急時の対応
- ⑤ トラックの構造と特性に合わせた運転
- ⑥ トラクタとトレーラの構造と特性に合わせた運転
- ⑦ 貨物の正しい積載方法と労働災害の防止
- ⑧ 危険物輸送に関する基礎的事項
- ⑨ 危険の予測及び回避
- ⑩ 安全運転のための心身の健康管理

制作：公益社団法人 全日本トラック協会

お問合せは、日貨協連テキスト販売係まで

Tel:03-3355-2031 Fax:03-3355-2037

ホームページアドレス <http://www.nikka-net.or.jp>

〒160-0004 東京都新宿区四谷3丁目2番5(全日本トラック総合会館9階)